

## 外貨預金のリスクについて

- 外貨預金には、為替変動リスクがあります。為替相場の変動により、お受取りの外貨を円換算すると、当初外貨預金作成時の払込み円貨額を下回る（円ベースで元本割れとなる）リスクがあります。
- 円を外貨に交換する際（預入れ時）および外貨を円に交換する際（引出し時）はそれぞれの通貨に対して[為替手数料一覧表](#) にございます片道の為替手数料（例えば1アメリカドルあたり1円）がかかります（お預入れおよびお引出しの際は、手数料分を含んだ為替相場である当行所定のTTSレート（預入れ時）、TTBレート（引出し時）をそれぞれ適用します）。したがって、為替相場の変動がない場合でも、往復の為替手数料（例えば1アメリカドルあたり2円）がかかるため、お受取りの外貨の円換算額が当初外貨預金作成時の払込み円貨額を下回る（円ベースで元本割れとなる）リスクがあります。
- シンガポールドル、メキシコペソ、南アフリカランド、ロシアルーブル、トルコリラ、デンマーククローネ、ノルウェークローネ、スウェーデンクローナ、チェココルナ、ハンガリーフォリント、ポーランドズロチ、アラブ首長国連邦ディルハム、クウェートディナール、タイバーツ、中国元はエマージング国通貨です。これらの通貨は主要国通貨に比べて、一般的に通貨供給量や為替取扱高が少ないため、当該国の経済環境、市場環境ならびに政情の変化などの事情により為替レートが大幅に変動するリスクや場合によっては交換できないリスクがあります。
- 中国元は為替管理が行われている通貨です。中国政府の通貨政策や経済環境、市場環境ならびに政情の変化などの事情により為替レートが大幅に変動するリスクや場合によっては他の通貨に交換できなくなるリスクがあります。
- 当行の預金は預金保険の対象外です。



## 外貨定期預金の中途解約についてのご注意

- 外貨定期預金の中途解約は、自動継続後を含め原則としてできません。万が一、当行がやむを得ないものと認めて中途解約に応じる場合には、預入日から中途解約日までの適用金利は無利息となり、当初預入元本のみ同じ通貨のマルチカレンシー普通預金口座に入金します。
- トルコリラ建て、南アフリカランド建て、中国元建てにつきましては、自動継続後を含め、中途解約はできません。万が一、真にやむを得ない事情(相続、破産、天災その他不可効力により財産の大部分を滅失した場合等、重大な事情の変更があった場合)があると当行が認め、中途解約に応じる場合には、預入日(または継続日)から中途解約日までの適用金利は無利息となり、当初預入元本のみを同じ通貨のマルチカレンシー普通預金口座に入金します。